



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月8日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 植野 悦匡 TEL 03-5298-1670
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,246	32.2	949	208.5	973	112.9	815	131.1
2021年3月期第3四半期	6,237	△3.6	307	△4.9	457	34.1	352	6.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 751百万円 (78.9%) 2021年3月期第3四半期 419百万円 (15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	75.43	—
2021年3月期第3四半期	31.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	12,195	10,534	85.9	967.95
2021年3月期	11,132	10,071	90.1	929.16

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 10,474百万円 2021年3月期 10,032百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	17.8	770	43.5	930	31.8	750	11.9	69.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	11,211,989株	2021年3月期	11,211,989株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	391,097株	2021年3月期	414,552株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	10,809,726株	2021年3月期3Q	11,144,446株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	9
最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が着実に普及し、厳しい行動制限は徐々に緩和されるなど、社会経済活動に回復の兆しが見られました。しかしながら、新たな変異株による感染拡大や世界的な資源価格の高騰による影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、遊技ホールの厳しい経営環境を背景に新台の購入意欲が低迷するなど厳しい市場環境が続いておりますが、当連結会計年度におきましては、2020年5月に施行された改正規則附則に伴い、旧規則機の設置期限に向けた新規則機への入れ替え需要が発生いたしました。

かかる環境の中で当社グループは、従業員及び取引先を含めた関係者の皆さまの安全を最優先とした新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組み、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、さらにはミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティの新規4領域における早期事業化に向けた活動に注力いたしました。また、新規事業の展開を加速させる観点から、組織再編やアライアンス、出資の検討等を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比2,008百万円増（同32.2%増）となる8,246百万円となりました。売上総利益は売上高の増収に伴い前年同四半期比542百万円増（同24.8%増）となる2,728百万円となっております。販売費及び一般管理費は、前年同四半期比99百万円減（同5.3%減）となる1,778百万円となりました。販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、前年同四半期比169百万円減（同15.5%減）となる921百万円となっております。

以上により、営業利益は前年同四半期比641百万円増（同208.5%増）となる949百万円、経常利益は前年同四半期比516百万円増（同112.9%増）となる973百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比462百万円増（同131.1%増）となる815百万円となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、その影響額は軽微なものとなっております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。なお、前連結会計期間まで「LSI開発販売関連」セグメントに含めておりました組み込み機器向け製品は、新規事業との関係性が深まってきていることから、第1四半期連結会計期間より「新規事業関連」セグメントに変更しております。前年同四半期比較の説明は、変更後の報告セグメント区分に基づき行っております。

①LSI開発販売関連

LSI開発販売関連は既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前年同四半期比1,935百万円増（同32.5%増）となる7,889百万円、セグメント利益は同566百万円増（同48.9%増）となる1,725百万円となりました。主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは前年同四半期に対し約3.9万個増加となる約35.0万個の販売になりました。また、メモリモジュール（注2）製品は新規販売ベースで前年同四半期を上回る販売数となったほか、高単価製品の販売比率が上昇したことにより、売上高は大幅に増加いたしました。また、当第3四半期末の同セグメントの受注残高は10,931百万円となっております。なお、半導体市場の需給ひっ迫の影響から多くのメーカーにおいて部材を積極的に確保する動きを見せており、本受注残には来期以降の販売予定分が含まれております。

②新規事業関連

新規事業関連は、組み込み機器向け製品に加え、ミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティ領域に向けたスタートアップ事業であり、組み込み機器向け及び機械学習/AI領域での売上高を中心に、売上高は前年同四半期比72百万円増（同25.6%増）となる356百万円、セグメント損失は同85百万円減（前年同四半期は399百万円の損失）となる314百万円となりました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（注2）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で1,063百万円増加となる12,195百万円（前連結会計年度末比9.6%増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（1,118百万円）、売掛金及び契約資産の増加（241百万円）に対し、商品及び製品の減少（395百万円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で600百万円増加となる1,661百万円（同56.5%増）となりました。主な要因は、買掛金の増加（343百万円）、未払法人税等の増加（82百万円）、その他の流動負債の増加（125百万円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で463百万円増加となる10,534百万円（同4.6%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（482百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想は、2021年12月9日に開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。なお、当第3四半期連結累計期間の業績は、通期連結業績予想値に対し営業利益以下の各利益で105%から123%の進捗となっております。

しかしながら、半導体市況の世界的な需給ひっ迫の影響やパチンコ・パチスロ機市場における旧規則機の入れ替え需要後の市場環境が不透明なこと、さらには第4四半期においてパチンコ・パチスロ機向け次世代製品の試作開発費を見込んでいることなどから、現時点においては予想値の見直しを実施する状況にはないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,913	9,031
売掛金	924	—
売掛金及び契約資産	—	1,165
商品及び製品	1,076	680
仕掛品	7	2
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	73	124
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,994	11,004
固定資産		
有形固定資産	96	85
無形固定資産		
のれん	41	32
その他	14	25
無形固定資産合計	56	57
投資その他の資産	985	1,047
固定資産合計	1,138	1,191
資産合計	11,132	12,195
負債の部		
流動負債		
買掛金	756	1,099
未払法人税等	48	130
賞与引当金	—	49
その他	216	342
流動負債合計	1,021	1,621
固定負債		
資産除去債務	39	39
固定負債合計	39	39
負債合計	1,061	1,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	871	878
利益剰余金	8,245	8,727
自己株式	△326	△307
株主資本合計	9,819	10,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	146
その他の包括利益累計額合計	213	146
新株予約権	15	27
非支配株主持分	23	32
純資産合計	10,071	10,534
負債純資産合計	11,132	12,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	6,237	8,246
売上原価	4,051	5,518
売上総利益	2,185	2,728
販売費及び一般管理費	1,878	1,778
営業利益	307	949
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	7
投資事業組合運用益	27	15
助成金収入	114	—
その他	3	1
営業外収益合計	150	24
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	457	973
特別損失		
減損損失	2	0
子会社株式評価損	1	—
子会社清算損	—	0
その他	0	—
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	452	971
法人税等	101	154
四半期純利益	350	817
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	352	815

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	350	817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△66
その他の包括利益合計	69	△66
四半期包括利益	419	751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421	749
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	1

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

特定子会社の異動には該当しておりませんが、前連結会計年度において非連結子会社でありましたaimRage株式会社は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、知的財産を使用する権利を提供する期間契約型のライセンスの使用許諾料につきましては、従来は契約期間にわたり収益を認識しておりましたが、提供するサービスの内容に基づき一部については顧客が知的財産を使用可能になった時点で一括で収益を認識する方法に変更しております。また、受注制作のソフトウェア等につきましては、従来は顧客への納品・検収等が行われた時点で収益を認識しておりましたが、履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができないが、発生する費用を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準にて収益を認識しております。履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い場合は、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用につきましては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4百万円減少し、売上原価は2百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は3百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大状況や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	LSI開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	5,953	283	6,237	—	6,237
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,953	283	6,237	—	6,237
セグメント利益又は損失 (△)	1,158	△399	759	△451	307

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△451百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	LSI開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	7,889	356	8,246	—	8,246
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,889	356	8,246	—	8,246
セグメント利益又は損失 (△)	1,725	△314	1,410	△461	949

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△461百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「LSI開発販売関連」セグメントに含めておりました組み込み機器向け製品は、新規事業との関係性が深まってきていることから「新規事業関連」セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

3. その他
最近における四半期毎の業績の推移
2022年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2021年4月～ 2021年6月	第2四半期 2021年7月～ 2021年9月	第3四半期 2021年10月～ 2021年12月	第4四半期 2022年1月～ 2022年3月
売上高	2,340	2,680	3,224	—
売上総利益	736	856	1,134	—
営業利益	195	309	444	—
経常利益	198	324	449	—
税金等調整前四半期純利益	197	324	448	—
四半期純利益	154	262	400	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	158	263	394	—
四半期包括利益	156	226	368	—
1株当たり四半期純利益	14.63円	24.34円	36.43円	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,790	11,062	12,195	—
純資産	9,906	10,156	10,534	—
1株当たり純資産	913.12円	933.95円	967.95円	—

2021年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2020年4月～ 2020年6月	第2四半期 2020年7月～ 2020年9月	第3四半期 2020年10月～ 2020年12月	第4四半期 2021年1月～ 2021年3月
売上高	2,564	1,697	1,975	2,762
売上総利益	938	592	654	906
営業利益又は営業損失(△)	423	△153	37	228
経常利益又は経常損失(△)	425	△126	157	248
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	425	△127	155	246
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	336	△105	120	318
親会社株主に帰属する四半期純 利益又は親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	338	△106	121	317
四半期包括利益	384	△92	128	343
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	30.22円	△9.48円	10.95円	29.41円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,675	11,235	10,692	11,132
純資産	9,988	9,918	9,724	10,071
1株当たり純資産	890.20円	881.78円	897.37円	929.16円